南あわじ市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2023年12月 No. 181号

ひょうご県民ボランタリー活動賞受賞

おめでとうございます

この度、「中田サロン」の皆さまが、これまでの活動功績を讃えられ、県知事表彰である「ひょうごボランタリー活動賞」を受賞されました。

中田サロンは平成20年より広田地区中田自治会にてサロンを立ち上げ、地域住民を対象とした、ふれあい交流活動を行っています。毎週いきいき百歳体操と、月２回ふれあい・いきいきサロンを開催しており、参加者の心身機能の維持、健康づくりに取り組んでいます。

サロンには民生委員さんも参加されており、いつでも気軽に相談できるような関係性ができています。参加者は声を掛けあって一緒に参加することで、つながりができ、見守りや閉じこもり予防などにつながっています。

コロナ禍では、通常の活動はできなくても、密にならないように集まり、ぬり絵などを配布し、また集えるまでの情報発信をしながら、つながりを止めない取り組みをされていました。「活動を始めてから、集いの重要性を感じこれからも続けていきたい。」と代表者の西川夫妻は話しておられます。

永きに渡る期間、紡いだつながることの大切さをこれからも継続していただきたいと思います。

発行　南あわじ市社会福祉協議会　ボランティアセンター
〒656-0122　南あわじ市広田広田 1064
TEL：44 - 3007　　FAX：44 - 3037
MAIL：info@minamiawaji-shakyo.or.jp

生活支援コーディネーターだより

2023.12

みどりふれあい福祉のつどい

10/29（日）

秋晴れの中、社協前の駐車場で「みどりふれあい福祉のつどい」が開催されました。野外ステージ」やお買い物コーナー、お楽しみコーナーなどたくさんの人でにぎわいました。また、「赤い羽根ハロウィン」をよびかけたところ、可愛いハロウィンの仮装をしてきてくれた子ども達が会場に花を添えてくれました。

来場者は「せんどぶりやなー」「集まる機会がないと、顔あわせることないもんなー」と会話を交わし、ある女性は「隣に住む小学生が五尺踊りの練習をがんばっていたので見に来た」と地域のつながりが実感でき、心温まる声が聞こえてくるつどいとなりました。

～みんなの地域に「あったらいいなこんなところ」～

クイズラリーの最後の問題は、地域で欲しい物や場所を記入してもらいました♪

1.大きな公園・遊具・室内で遊べる場
2.お店（スーパー・野菜の直売所・駄菓子屋）
3.子ども食堂（おなかがすいたら集まる食堂）
4.居場所（100 円コーヒー・話しあう場）
5.イベント（今日のような祭り）(^^♪)
6. その他（電車・みんなが楽しく仲よく遊べる場所・ごみがない健康な町）

たくさんのご意見いただきありがとうございました！
みなさんからいただいた「あったらいいなー」を参考にこれからの地域づくりを一緒に考えていけたらと思っています。

なんだん福祉まつり

11/11（土）

～響け響けみんなの気持ち　届け届けみんなの心～

どこまでも響き渡るような南淡中学校のオープニング演奏で、令和5年度のなんだん福祉まつりが始まりました。

当日は、木枯らし1号が吹く肌寒い日でしたが、600 人近くの人出で会場はにぎわいました。ふるまいの淡路島伝統料理の『ちょぼ汁』には列をなし、冷えた体をほっこりさせてくれました。「つながる」をテーマに小さな出会いのつながりを紡いだり、「久しぶり～」の出会いにつながり直しができたり、まつりを通して身も心も活気づいた一日となりました。